



生徒が考えた複数の発表方法から選んで表現するまでの一連の活動
(NEW HORIZON English Course 1 Unit10 Winter Vacation)

- ①話・発 ②協・発 ③タブ ④Googleスライド ④canva

【ここがポイント！】

①「写真や動画の活用」

冬休みに体験したことや過去に出かけた場所、思い出の写真・動画を Google スライドに貼り付けて紹介する。内容や紹介形式は生徒に選ばせる。自分の体験を写真や動画で紹介することで意欲も高まり、学校外での体験を共有することができる。

②「発表練習の工夫」

スクリーンキャプチャを使って、作成したスライドと生徒自身の顔を画面に写した状態で発表する様子を録画する。Google ドライブで共有し、生徒同士で見合っコメントする。そのアドバイスを活かして改善し、指導者に提出する。

【実践の目標】

冬休みや昔のなつかしい思い出について、紹介方法や写真・動画を自分で選び、相手に興味をもってもらったり質問を受けたりしながら話することができる。

【実際の場面】

1. アンケート結果等を参考にして相手意識と目的意識をもつ

A L T や元 A L T からの依頼を動画で視聴したり、「冬休みについて、どのような事を友達から聞きたいか」等の生徒アンケート結果を見たりして、自分の体験のどれを紹介するかを考えた。また、紹介する方法としてプレゼンテーション形式かクイズ形式かを選び、誰に何を伝えるかを考えた。

2. 紹介するスライドを作成する

スライドには写真や動画だけを使い、文章は入れないようにした。話したい内容を考えながら補助的な役割としてのスライドを作成した。



3. 自分で選んだコースで話す練習をする

プレゼンテーション形式かクイズ形式かを自分で選び、スクリーンキャプチャを活用して話す練習をした。

4. 同じ紹介形式の生徒同士で交流する

内容がどうか、もっと効果的な方法や表現はないか等、視点を決めて交流した。コメント機能を使ってアドバイスし合い、それを活かして改善した。

5. いろいろなペアで話す

他のコースを選んだ生徒とペアになってやり取りをした。英語での反応や質問を入れながら互いの発表について話をした。

6. やり取りの内容をノートに書いて振り返る

自分が話したことと、それに対する相手の反応や質問等を書き出すことで振り返った。

7. 評価を行う

後日、スクリーンキャプチャを使った発表とノートに書いたやり取り、活動を振り返った自己分析を提出させ、指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

- スクリーンキャプチャを活用したことで、自分が話している音声だけでなく表情も客観的に振り返ることができ、表現力が向上した。I C T 機器の操作技術も向上した。
- 単元に入る前（冬休み前）から単元のゴールとなる活動を確認していたことで、「日常のいろいろな場面を写真や動画で撮影して授業で使おう」、「友だちやA L T たちに伝えよう」という学習への意欲が高まった。生徒が授業で使うことを家族と話したり撮影の協力をしてもらったりすることにつながった。

【課題】

- 無料のデザインツールアプリ canva 等も取り入れ、使用するものを生徒が選択しながら工夫満載の作品が作れるようになっているが、書く力に十分つながっていないところがある。家庭学習とも関連付けながら定着できるようにしていきたい。